

# 湯来ふるさと新聞

第174号（令和元年10月18日発行）

738-0513  
広島市佐伯区  
湯来町伏谷 535  
湯来ふるさと  
プロジェクト  
☎0829-86-1439

## こんにゃく芋の収穫

いよいよ、こんにゃく芋収穫の時期になりました。3年生の種芋を植えたら、左の写真のように、普通はソフトポール大の芋に成長し、生子（きご）をたくさん付けているはずですが、でも、種芋の持つ力、気象条件、施肥のタイミングなどによって芋の大きさは様々です。芋の大きさがわかりしないで、生子の収穫をしつかりやりましょう。



プランターこんにゃく芋を収穫する際は、次の方法で慎重に収穫し乾燥、保管をお願いします。

①まずは地表に覗いている「生子」を収穫してください。次に土中の芋を傷つけないように、ゆっくり手で

土を掘り、土をシート等の上に出してください。

②大きくなってきているこんにゃく芋を取り出すと、ヒヨロリと伸びた生子がついています。これを大きな芋からホキホキと取り外してください。

③「ヒヨロリと伸びた生子」の他に、「コロンとした生子」もあります。生子の取こぼしが無いように、プランターをひっくり返して、土を出し、手で丁寧さらして、生子を取り出してください。

④収穫した芋と生子は、それぞれ大きさに分類し、風通しの良いところで、しっかりと乾燥させましょう。

⑤保管は、紙袋でお願いします。紙袋には栽培者の名前を書いておいてください。

⑥芋と生子は全て湯来プロがまとめて保管します。収穫後のプランターと土は、来年度も使うので、保存しておいてください。

今年も暑い夏でした。何日間も雨が降らない日があり、枯れたこんにゃく芋もあったので、生育を心配しましたが、収穫量はまあまあなのではないでしょうか。左の写真は、9個のプランターから収穫したこんにゃく芋と生子です。



## 日本焚火学会2019年大会

10月12日（土）に、日本焚火学会2019年大会が、麦谷にある本部焚場で開催されました。当日は、台風19号の影響で、前日から突風が吹いていましたが、夕方には何とか風が落ちついて、焚火ができる状態になりました。

湯来プロとして焚火学会に参加するのははじめてです。当日の午後から、会場で販売する「しし汁」「煮卵と冬瓜の煮物」「こんにゃくの天ぷら」を、農村環境改善センターで準備して、会場に向かいました。



会場では、焚火を愛する人達が、既に集まっており、お酒を飲んだり、おでんやお寿司などを食べたり、チェンソーで木を切ったりしていました。



会場内で使えるお金は「焚（ターク）」だけです。新札の「焚」だけならいいのですが、まるで世界中を旅してきたようなヨレヨレの「焚」も多くあり、薄暗がりの中、お釣りを出すのにちょっと苦労しました。



湯来プロは、夜8時ころに撤収したのですが、焚火を愛する人たちは、焚火の前で講座をしたり、テントを張って泊まるなど、翌朝まで焚火の煙にいびさ



れていたようです。来場者数は87人（主催者発表）。来年も焚火学会でお会いしましょう、

## お知らせ

●10月27日（日）午後1時から、安佐南区沼田町吉山にある「SPACE葉」で、杉山ルミ子さんのピアノが楽しめるミュージック・デイが開催されます。当時は2部構成で、参加費は1500円（コーヒー・お菓子付）。申し込みは21日（月）まで。

☎070・7565・7731

## ●今後の予定

10月25日（金）元氣市準備

南公民館まつり準備

10月26日（土）元氣市

10月27日（日）

南公民館まつり

11月2日（土）

定例会、森の市準備

11月3日（日）森の市

11月16日（土）

水内ふるさとまつり準備

11月17日（日）

水内ふるさとまつり